

施策名：文化財・伝統文化の保存・活用・継承

事業名	担当課・室名	ページ
豊の国埋蔵文化財魅力発信事業	文化課	1 / 2
日本遺産認定推進事業	文化課	2 / 2

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

(評価実施年度：平成30年度)

別紙2-4

事業名	豊の国埋蔵文化財魅力発信事業		事業期間	平成29年度～平成29年度		政策区分	芸術文化による創造県おおいたの推進			
						施策区分	文化財・伝統文化の保存・活用・継承			
総合評価	A 終了		事業実施課(室)名	文化課		評価者	文化課長 阿部 辰也			

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県民共有の財産である文化財・伝統文化を適切に保存・管理して次世代に確実に継承していくとともに、積極的な情報発信を通して県民が文化財・伝統文化について親しみ、理解を深める機会の充実が課題となっている。	事業の目的	県民が文化財・伝統文化に触れる機会の充実を図るため、新しく移転オープンした埋蔵文化財センターを活用し、埋蔵文化財を中心に国際色豊かな大分の歴史・文化の魅力を発信する。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①企画展の開催 大友氏に関連した企画展や、大分の石造物を特集した企画展の開催(2回：8,156人)	①	3,998	総コスト		24,070	
②講演会、シンポジウムの開催 大友氏や大友氏遺跡に関連した講演会の開催(3回：632人)	②	1,153	事業費		4,070	
③「おおいた歴史ガイドナビ」の作成 小学生向けの展示解説冊子の作成(5,000冊)	③	374	(うち一般財源)		2,940	
④「豊の国考古学講座」の開催 一般向けの考古学講座や親子歴史教室の開催(11回：751人)	④	313	人件費		20,000	
	計	5,838	職員数(人)		2.00	

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(29年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(29年度)	評価割合	評価	
	企画展の入館者数(人)	目標値			7,500			7,500	68%	展示解説冊子の配付数(冊)	目標値		1,700			
実績値				8,156		8,156	実績値				1,908		1,908			
達成率				108.7%		108.7%	達成率				112.2%		112.2%			
講演会等の参加者数(人)		目標値			618		618	20%	考古学講座の参加者数(人)	目標値		800		800	5%	
		実績値			632		632			実績値		751		751		
		達成率			102.3%		102.3%			達成率		93.9%		93.2%		

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(29年度)	評価	事業の成果
埋蔵文化財センターの年間入館者数(人)	目標値			15,000		15,000	a	開館記念イベントとして企画展(2回)と講演会(3回)を開催し、大分の文化財・伝統文化の魅力を内外に発信することができた。その結果、目標の15,000人を大きく上回る入館者数を達成した。
	実績値			20,121		20,121		
	達成率			134.1%		134.1%		

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭に向けた魅力ある企画展の開催 学校単位での利用促進による、子どもたちへの鑑賞機会の充実 	今後の方向性	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 終了 継続・見直し 例外的に継続 廃止 </div>
		今後の事業方針	<ul style="list-style-type: none"> 国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭の開催など、今後大分県に注目が集まる機会を活かし、大分の豊かな歴史や文化の魅力を県内外に発信する「おおいたの歴史・文化魅力発信事業」を平成30年度から実施

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成29年度)

(評価実施年度：平成30年度)

別紙2-4

事業名	日本遺産認定推進事業		事業期間	平成28年度～平成30年度		政策区分	芸術文化による創造県おおいとの推進	
				施策区分	文化財・伝統文化の保存・活用・継承			
総合評価	B	継続・見直し	事業実施課(室)名	文化課		評価者	文化課長 阿部 辰也	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	各市町村において、文化財の魅力を活かした観光振興・地域活性化が進められているが、市町村の枠を超えて広域的に連携して文化財の魅力を発信する取組が十分でない。	事業の目的	文化的特色を活かした地域の活性化を図るため、市町村を繋ぐ文化・伝統のストーリー化等を行い、日本遺産認定を目指す。
-------	---	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
①日本遺産認定に向けた文化財の効果的なブラッシュアップ 日本遺産推進協議会等から推薦を受けた文化財の整備(5件)	①	15,000	総コスト	37,736	36,890	36,690
②日本遺産推進協議会の開催 市町村が作成したストーリー等に対する有識者等からの助言・指導(4回/2市参加) 平成30年度認定に向けた申請(1件/2市)	②	1,558	事業費	17,736	16,890	16,690
③広域的な情報発信	③	532	(うち一般財源)	17,736	16,890	16,690
認定自治体職員及び日本遺産推進協議会委員によるシンポジウムの開催(1回/68人) 認定されたストーリー等を紹介するリーフレットの作成・配布等(5,000部)	④		人件費	20,000	20,000	20,000
	計	17,090	職員数(人)	2.00	2.00	2.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(30年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(30年度)	評価割合	評価
	文化財の整備件数(件)	目標値		4	5	5		5	88%	日本遺産に関する講演会等の参加者数(人)	目標値	40	100		
実績値			4	5			実績値	43			68				
達成率			100.0%	100.0%			達成率	107.5%			68.0%				
日本遺産推進協議会の開催回数(回)		目標値		3	4	3	3	9%	目標値						
		実績値		3	4				実績値						
		達成率		100.0%	100.0%				達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	28年度	29年度	30年度	最終達成(30年度)	評価	事業の成果
日本遺産認定に向けて申請したストーリー数【累計】(件)	目標値		4	5	5	5	b	28年度に申請を行ったが認定を見送られた豊後高田市・国東市のストーリー「鬼が仏になった里『くにさき』」は、修正鬼会等で用いられる鬼会面等の展覧会など継続した取り組みを進め、再び申請を行うことができた。 また、日本遺産シンポジウムの開催を通じて、県民に広く情報発信することができた。
	実績値		4	4				
	達成率		100.0%	80.0%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度認定に向けた申請件数(目標1件)の確保 文化財の整備件数(目標5件)の確保 広域的な情報発信の実施 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 申請件数1件を確保できるよう、市町村等への働きかけを実施 日本遺産認定に向けた文化財の効果的なブラッシュアップが図られるよう、申請市町村のヒアリングを行い、日本遺産推進協議会で協議しながら整備すべき文化財を決定 認定自治体において「日本遺産子どもガイド交流会」を開催することで、地域活性化を推進 		<input checked="" type="checkbox"/>		